

こんにちは。

カナダのブリティッシュコロンビア州ナナイモ市に留学に来て1か月が経ちました。

来たばかりの時は、日本での環境と全く異なっていたので常に緊張しっぱなしでしたが、周りの景色も見慣れたものになってきました。

ナナイモは、朝は寒いのですが、昼間は太陽の光が建物に遮られることなく照り付けるので寒暖差が激しいです。

せっかくなのでここでは、カナダに来てから1か月、特に印象に残った出来事について書きたいと思います。

1. 人種

ナナイモはバンクーバーに近いので学校には多くのアジア人がいると予想していましたが、実際は9割以上が白人の生徒です。

また、僕の通っている学校は、毎年世界中から多くの留学生を受け入れているのですが、今年は珍しくドイツ人留学生が大部分を占めているため、留学生のアジア人もあまりいないという状況です。

そんなことで最初は、アジア人のまったくいない環境でアウェーな感じがしましたが、今ではすっかり慣れました。

2. 時間割

日本の高校では、毎日いくつもの異なる科目をローテーションしていきますが、この高校はなんと1週間のうちに受ける科目が4つしかありません。

4コマ×85分を毎日順番を入れ替えながらセメスター間受講していく時間割となっています。

毎日集中的に4つの科目を受けるので技能習得には効率的な時間割であると感じました。

また、たくさんある講義の中から自分で受けてみたい授業を選択できるため、授業時間が長いのも相まって大学みたいなシステムであるとも感じました。

日本と登下校時間はあまり差がありませんが、科目数が少ないせいか日本よりも学校が終わるのが早く感じます。

3. バス

僕は通学に公共のバスを使っているのですが、乗っている人の全員が全員、バスを降りるとき運転手に「Thank You!」と言います。

日本では、運転手にありがとうと声掛けをして降りるという習慣はあまりないため、なんだか新鮮でかつ心が温まりました。

身の回りで起こることの何から何までが日本とは全く異なっているため、困惑しながらも楽しんだカナダでの生活もあっという間に1か月が経ってしまいました。

おそらくこの先は、今よりもこの環境に慣れていくため、想像の何倍も時の流れが早いでしょう。

悔いの残らない留学生活になるよう、日々を大切に過ごしていきたいです。



避難訓練の際の写真



Blueback Beach にて

白鷗高校 14 期生 次世代リーダー育成道場 10 期生 J.J